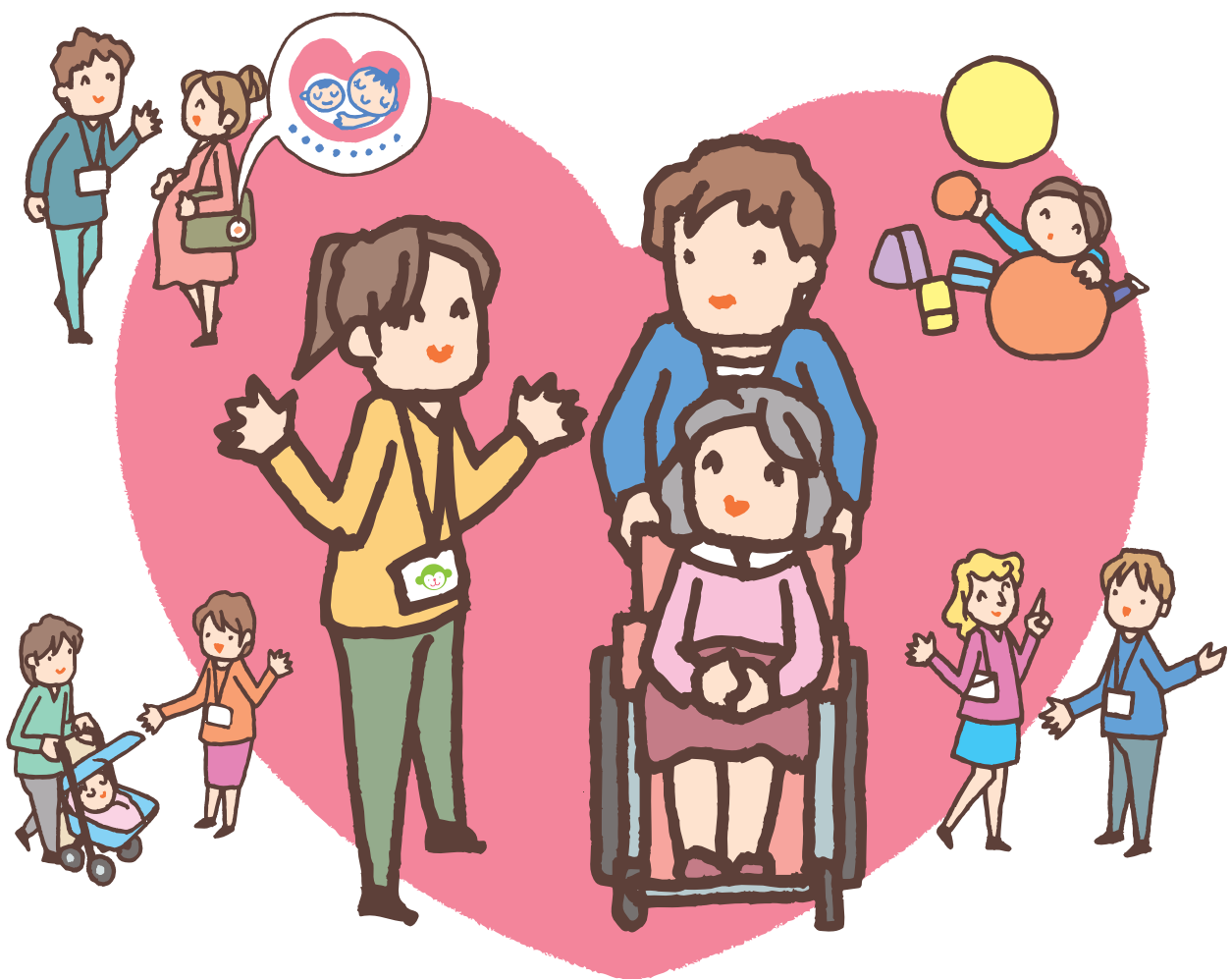


「ユニバーサル都市・福岡」 職員行動指針

～みんながやさしい、みんなにやさしいまちを実現するために～



みんながやさしい、みんなにやさしい
ユニバーサル都市・福岡

平成24年8月 福岡市

みんながやさしい、みんなにやさしい 「ユニバーサル都市・福岡」の実現へ向けて

職員の皆さん。

福岡市は、人と環境と都市が調和のとれたアジアのリーダー都市をめざしています。

そのためには、私は特に「暮らしの質を高める」ことで「都市の成長」を促し、「都市の成長」がさらなる「暮らしの質を高める」ことにつながるという、この循環を持続させ、活力あるまちづくりを進めていくことが不可欠と考えます。

「ユニバーサル都市・福岡」の実現。

これは、「暮らしの質を高める」ための大きな目標です。

具体的には、ユニバーサルデザインの理念に基づくまちづくりを行うことで、すべての人にとって住みやすい、すべての人が訪れてみたくなるまちを実現する。

それが、みんながやさしい、みんなにやさしい「ユニバーサル都市・福岡」の姿です。

「ユニバーサル都市・福岡」を実現するためには、各局区が、これまで高齢者、子ども、女性、男性、障がい者、市民、来訪者、外国人、観光客など、さまざまな人々を対象に、ソフト・ハードの両面でそれぞれ目標をもって取り組んできたことを発展させ、「ユニバーサル都市・福岡」の考え方を、あらゆる施策を貫く共通のコンセプトとしなければなりません。

この行動指針は、職員の皆さんの日々の仕事のよりどころとなり、組織の連帯と絆を深め、「ユニバーサル都市・福岡」の実現に向けて、踏み出せるように作成しました。

この“指針”を手がかりに、一人ひとりが、「ユニバーサル都市・福岡」の考えを理解してください。そして、私と一緒に「ユニバーサル都市・福岡」を実現し、福岡市民の暮らしの質の向上と福岡市の発展の車輪を力強く前進させていきましょう!

福岡市長 高島宗一郎

1 「ユニバーサル都市・福岡」を理解しよう。…………… p.3

① 背景

② みんながやさしい、みんなにやさしいまち、「ユニバーサル都市・福岡」とは

2 「ユニバーサル都市・福岡」の輪を広げよう。…… p.5

3 「ユニバーサル都市・福岡」実現をめざして行動しよう。 p.6

行動のための合言葉

私たちの周りの「ユニバーサル都市・福岡」…………… p.7

シーン1 接遇のとき

シーン2 まちのなかで

裏表紙 …………… 「ユニバーサル都市・福岡」の実現イメージ



「ユニバーサル都市・福岡」ロゴマーク

「人」を「ハート」で囲むことにより、みんなが笑顔で
思いやり、語りあうイメージをサルで表現しました。

「ユニバーサル都市・福岡」を理解するためのことば

【バリアフリー】

障がいのある人や高齢者などが社会生活をしていく上で障壁（バリア）となるものを取り除く（フリー）こと。段差のスロープ化などの物理的なバリアフリーをはじめ、お互いを理解し支え合うことができるようにする意識や心のバリアフリーなどの取り組みがあります。

【ユニバーサルデザイン】

年齢、性別、能力、背景などに関わらず、できるだけ多くの人々が自由に快適に利用でき、行動できるように、ものづくり、情報、サービスやまちづくりなどあらゆる場面で、あらかじめ、思いやりのある配慮を行うという考え方で、「ユニバーサル都市・福岡」の根幹となる概念です。

【ダイバーシティ】

ダイバーシティ (diversity) とは、多様性のこと。さまざまな人の個性を受け入れ、一人ひとりの力を生かしていこうという考え方です。「みんながやさしい、みんなにやさしい」という言葉には、福岡市に集う人々の多様性への意識も含まれています。